

キャリア・パスポートと教育課程との関連 <高等学校> 例

培いた い力	青森県が目指す「キャリア教育で培いたい資質、能力、態度」		自己を見つめる力	つながる力	動く/生かす力	創り出す力
	国が示す基礎的・汎用的能力		自己理解・自己管理能力	人間関係・社会形成能力 / キャリアプランニング能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力 / 課題対応能力
各教科等			<P1> 「今と将来の自分を見つめよう」	<P2> 「人とのつながりを考えよう」	<P3> 「自分の行動を将来に生かしていこう」	<P4> 「自分の将来を創り出そう」
道徳教育	1 自立心や自律性を高め、規律ある生活をする		○	○		
	2 生命を尊重する心を育てる		○	○		
	3 社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養う			○		○
	4 義務を果たし責任を重んずる態度及び人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養う			○	○	
	5 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付ける			○		○
特別活動	1 ホームルーム活動	(1) ホームルームや学校における生活づくりへの参画		○	○	
		(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	○	○	○	○
		(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	○	○	○	○
	2 生徒会活動			○	○	○
3 学校行事		○	○	○	○	
総合的な探究の時間	現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題			○		○
	地域や学校の特色に応じた課題			○	○	
	生徒の興味・関心に基づく課題		○			
	職業や自己の進路に関する課題				○	○

※キャリア・パスポートと特に関連が深い部分を○で表示している。

※道徳の内容については、内容構成の基本的な視点を記載した。

※特別活動の3の学校行事については、学校の教育課程編成によってキャリア・パスポートとの関連が異なるため、細分化された内容は記載していない。

※総合的な探究の時間の内容については、学習指導要領の目標を踏まえ、各学校で定めることになっているため、学習指導要領に例示された「四つの課題」との関連が深い部分のみを記載とした。探究課題の設定等については、学習指導要領解説(P24～25、P32～33、P47～48、P86～90)を参照。